



各位

平成 20年 11月 7日

会 社 名 **若築建設株式会社**  
 代 表 者 名 取締役社長 福島 章雄  
 (コード番号 1888 東証第1部)  
 問 合 せ 先 執行役員財務部長 衣非 勉  
 TEL (03) 3492 - 0273

## 業績予想の修正及び減損損失の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績等を踏まえ、平成20年8月8日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

(単位:百万円)

平成21年 3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	32,000	△ 800	△ 1,200	△ 3,000	△24円32銭
今回修正予想(B)	35,152	△ 1,042	△ 1,585	△ 6,874	△55円72銭
増減額(B-A)	3,152	△ 242	△ 385	△ 3,874	
増減率(%)	9.9%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 20年 3月期第2四半期)	33,439	△ 969	△ 963	△ 592	△4円80銭

平成21年 3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	30,000	△ 900	△ 1,200	△ 3,000	△24円32銭
今回修正予想(B)	33,701	△ 1,194	△ 1,422	△ 6,636	△53円79銭
増減額(B-A)	3,701	△ 294	△ 222	△ 3,636	
増減率(%)	12.3%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 20年 3月期第2四半期)	31,760	△ 1,104	△ 1,360	△ 986	△8円00銭

## 2. 修正の理由

### ①(個別業績予想)

売上高につきましては、完成工事高が増加したことに伴い、37億円増加する見込みです。完成工事高の増加により、工事利益は増加いたしました。が、進行基準の適用範囲変更に伴う完成比率の上昇による間接費負担額が増加したため、営業利益は2.9億円、経常利益は2.2億円、それぞれ減少いたします。

また、当社は平成20年10月1日に発表いたしました「中期経営計画」に基づき、早期の有利子負債圧縮を目指し、事業用不動産等の資産売却をすすめております。その一環として売却を予定する事業用不動産について、減損損失を10億円、特別損失として計上しております。

そのほか、通期業績予想の修正（平成20年10月1日）に記載の通り、繰延税金資産を26億円取り崩します。ので、四半期純損失は66億円を予定しております。

### ②(連結業績予想)

個別業績の修正及び、持分法適用会社の業績の影響による修正です。

### ③(通期業績予想)

平成21年3月期の通期業績予想につきましては、現在のところ平成20年10月1日に公表いたしました売上高、営業利益、経常利益、純利益とも変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結業績予想	87,000	1,000	100	△ 6,500	△52円69銭
個別業績予想	84,300	850	280	△ 6,400	△51円88銭

売上高、営業利益、経常利益につきましては、完成工事高の計上に伴う工事利益の向上により、上記の数値を予定しております。

当期は遺憾ながら純損失となりますが、当期に予定している特別損失等のうち、固定資産売却損（32億円。これに伴い計上される法人税等調整額△11億円、再評価差額金取崩額△13億円）は減損損失として10億円（法人税等調整額△3億円、再評価差額金取崩額△2億円）を、繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額26億円を当第2四半期に計上する予定であります。

また、平成20年10月30日に公表いたしました「希望退職者募集に関するお知らせ」の通り期末までに5億円の特別損失の発生を予定しております。

なお、当四半期純損失は66億円であります。が、土地再評価に係る繰延税金負債の取り崩し（法人税等調整額・通期予定△11億円、今後予定△8億円）の実現により、通期の純損失は64億円となる見通しであります。

以上